

金杉建設3代目社長に就任した

よしかわ ゆづすけ

吉川 祐介さん



この人

くしくも創業70周年の節目の年に3代目の社長に就任した。埼玉県春日部市に本社を置く金杉建設は、第1回 iConstruction 大賞の優秀賞を獲得、その後も積極果敢にデ

DXで仕事をより楽に

デジタル化を押し進め、iCon nトップランナーとして走り続けていく。「ICT活用を強化し、特にその内製化には力を入れてきた。生産性を一層上げるため、今後もソフトウェアや機器への投資は惜しまない」

いまや業界に浸透したiConだが、「その始まりと同じような雰囲気もDX（デジタルトランスフォーメーション）に

感じている。まだ手探りの状況ではあるが、施工管理だけでなく、働き方や組織のあり方まで変革し、仕事をより楽に、より高度にできるDXを推進していきたい」と先を見据える。

最近、水際の工事の着手前におけるICT測量、工事受注後2週間程度での3次元設計デー

タ作成とそれに基づく施工検討という社内ルールを定めた。発注者指定の有無などに関係なく、自社の当たり前として全工事にICTを使い、安全でスムーズな施工に生かす。「デジタルに関するルールが増えるほど仕事が楽になったと感じてもらえたら。それもDXの姿なのだろう」

1995年3月日大生産工学部土木工学科卒、同年4月株木建設入社。97年3月退社、同大学院などを経て、2000年4月金杉建設入社。03年取締役、10年専務、20年10月から現職。趣味はウイスキーだが、コロナ禍の最近では「健康のことも考え、自宅で飲み過ぎないように紅茶にこり始めた」。埼玉県出身、47歳。

